

令和元年度 第3回岡山市都市・消防政策審議会

と き 令和2年2月26日(水) 9:30～

ところ 勤労者福祉センター5階 第3会議室

出席者 委員 後藤会長、元家副会長、氏原委員、延味委員、齋藤(美)委員、
齋藤(光)委員、嶋田委員、高谷委員、永山委員

岡山市 林都市整備局長、栗田都市・交通・公園担当局長、平澤都市整備局次長、
桐野都市整備局参事監、番場道路部長、齋藤住宅・建築部長、
加藤道路計画課長、小野住宅課長
事務局：都市企画総務課

○議 事

新たなみちづくり計画の計画案について
表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

(意見) 2月初旬に「道路法改正案」が閣議決定され、道路空間を街の活性化に活用するなど、道路についての考え方が変わっていくタイミングなので、そのあたりをもう少し反映できたら良かった。

(回答) ー

(意見) 主要施策について、路線名のみの表示となっており、具体的にどこが良くなるのかわかりにくい。

(回答) 位置図を加えるなど、わかりやすい作りに修正する。

(意見) 交差点安全対策のイメージ図の意図がわかりにくい。
緊急輸送道路の橋梁耐震化に関する画像の解像度が悪い。

(回答) 見直しをおこなう。

(意見) 維持管理の施策について、具体的な事業の記載がないことや、説明が一部不足している。

(回答) 維持管理に関する具体的な事業名や内容説明について追記する。

(意見) 成果目標について説明が不十分。

(回答) 成果目標に用いる指標について、説明を追記する。

○議 事

道路事業に係る事前評価について(県道岡山倉敷線(電線共同溝))

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

(意見) 歩行者数は多いとは言えないため、歩道幅員が広すぎるのではないか。

(回答) 歩道内に電線共同溝を設置するため、幅員を確保する必要がある。また、周辺では公園整備を進めており、歩行者も増えると考えている。

(意見) 事業区間は、自転車走行空間整備の全体計画区間か。

(回答) 当面の全体計画区間ではないが、計画区間の延長上に位置しており、道路幅員の再配分に併せて、自転車走行区間を確保する予定である。

(意見) 「事業の必要性や効果(岡山市みちづくり計画との整合性等)」については、「岡山市みちづくり計画2019」の内容について記載すべきではないか。

(回答) 修正する。

(意見) 事業の必要性は高い。

(回答) ー

○審議結果 事業着手する市の対応方針は妥当である。

○議 事

道路事業に係る再評価について(都市計画道路上石井線岩井線)

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

(意見) 通学路の安全確保が図られているのか。

(回答) 両側に歩道を整備し、通学路の安全確保が図られる。

(意見) 「岡山市みちづくり計画における位置づけ」については、「岡山市みちづくり計画2019」の内容について記載すべきではないか。

(回答) 修正する。

(意見) ぜひ、事業を進めていただきたい。

(回答) ー

○審議結果 事業を継続する市の対応方針は妥当である。

○議 事

住宅事業に係る再評価について(岡山市中心地区地域居住機能再生推進事業)

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

(意見) 市営住宅は福祉の観点から言えば良いものだと思うが、北長瀬という好立地のなか、家賃など周辺のマンションとの乖離が大きいので、ある程度配慮があった方がよいのでは。

(回答) 市営住宅は低額所得者用の住宅であり、家賃は決められた方法で算出している。

(意見) 事業も80%進捗していることもあり、このまま進めてもらいたい。

(回答) ー

○審議結果 現計画を継続する市の対応方針は妥当である。

以下余白